

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3186035号
(U3186035)

(45) 発行日 平成25年9月12日 (2013. 9. 12)

(24) 登録日 平成25年8月21日 (2013. 8. 21)

(51) Int. Cl.

F 1

A 4 7 B 67/04 (2006. 01)

A 4 7 B 67/04 5 0 2 Z

A 4 7 B 88/00 (2006. 01)

A 4 7 B 88/00 Q

評価書の請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 11 頁)

(21) 出願番号 実願2013-3851 (U2013-3851)

(22) 出願日 平成25年7月4日 (2013. 7. 4)

(73) 実用新案権者 591054635

株式会社伸和

新潟県新潟市西蒲区金池 1 〇 番地

(74) 代理人 100092691

弁理士 黒田 勇治

(72) 考案者 山本 和伸

新潟県新潟市西蒲区金池 1 〇 番地 株式会
社伸和 内

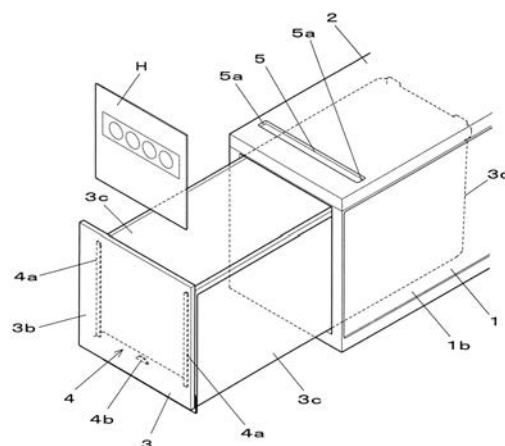
(54) 【考案の名称】 収納ケース

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】文字、模様、色彩等の区別可能な数種類の表示材を用意し、例えば、親と子供、男性と女性等に応じて表示材を選択的に取り替えて配置することにより引出体内の収納物を認識することができ、かつ、引出体の前板を透明材又は半透明材で形成することにより、引出体を引き出さずとも外部から視認することができ、使用の利便性を高めることができる収納ケースを提供する。

【解決手段】底板、左右の側板 1 b、後板からなる前面及び上面が開口した合成樹脂製の枠本体 1 と、枠本体の上面を覆う合成樹脂製の天板体 2 と、枠本体の前面の開口を介して引出収納自在に設けられ、底板、前板 3 b、左右の側板 3 c・3 c、後板 3 d からなる上面が開口した合成樹脂製の引出体 3 とからなる。引出体の前部に引出体内の内容物を表示する表示札やメモ厚紙等の表示材 H を取替収納可能な収納ポケット部 4 を形成してなる。

【選択図】 図 2



【実用新案登録請求の範囲】**【請求項 1】**

底板、左右の側板、後板からなる前面及び上面が開口した合成樹脂製の枠本体と、該枠本体の上面を覆う合成樹脂製の天板体と、該枠本体の前面の開口を介して引出収納自在に設けられ、底板、前板、左右の側板、後板からなる上面が開口した合成樹脂製の引出体とからなり、上記引出体の前部に該引出体内の内容物を表示する表示札やメモ厚紙等の表示材を取替収納可能な収納ポケット部が形成されていることを特徴とする収納ケース。

【請求項 2】

底板、左右の側板、後板からなる前面及び上面が開口し、上下に積み重ね可能な複数の合成樹脂製の枠本体と、該積み重ねられた最上位の枠本体の上面を覆う合成樹脂製の天板体と、該複数の枠本体の前面の開口を介してそれぞれ引出収納自在に設けられ、底板、前板、左右の側板、後板からなる上面が開口した合成樹脂製の引出体とからなり、上記各引出体の前部に該引出体内の内容物を表示する表示札やメモ厚紙等の表示材を取替収納可能な収納ポケット部が形成されていることを特徴とする収納ケース。

10

【請求項 3】

上記収納ポケット部として、上記引出体の左右の側板の内側面の前部に上記表示材の裏面の左右縁部にそれぞれ係止可能な左右一对の保持壁部を形成し、該引出体の底板の内底面の前部に該表示材の裏面の下縁部に係止可能な保持凸部を形成してなることを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の収納ケース。

20

【考案の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本考案は、例えば一般家庭に設置されて衣類や各種小物類等を整理収納する際に用いられる収納ケースに関するものである。

【背景技術】**【0002】**

従来、この種の収納ケースとして、前面及び上面が開口した合成樹脂製の枠本体と、枠本体の上面を覆う合成樹脂製の天板体と、枠本体の前面の開口を介して引出収納自在に設けられ、上面が開口した合成樹脂製の引出体とからなる構造のものが知られている。

【先行技術文献】

30

【特許文献】**【0003】**

【特許文献 1】実用新案登録第 3 1 7 5 8 2 7 号

【考案の概要】**【考案が解決しようとする課題】****【0004】**

しかしながらこれら従来構造の場合、上記引出体内に収納された収納物を表示する文字、模様、色彩等の区別可能な数種類の表示札やメモ厚紙等の表示材を収納するに際し、この表示材を収納するためのスペースが存在せず、表示材を引出体内の収納物上に放置せざるを得ず、それだけ、収納物の整理収納が厄介となり、使用の利便性が低下することがあるという不都合を有している。

40

【課題を解決するための手段】**【0005】**

本考案はこれらの不都合を解決することを目的とするもので、本考案のうちで、請求項 1 記載の考案は、底板、左右の側板、後板からなる前面及び上面が開口した合成樹脂製の枠本体と、該枠本体の上面を覆う合成樹脂製の天板体と、該枠本体の前面の開口を介して引出収納自在に設けられ、底板、前板、左右の側板、後板からなる上面が開口した合成樹脂製の引出体とからなり、上記引出体の前部に該引出体内の内容物を表示する表示札やメモ厚紙等の表示材を取替収納可能な収納ポケット部が形成されていることを特徴とする収納ケースにある。

50

【 0 0 0 6 】

又、請求項 2 記載の考案は、底板、左右の側板、後板からなる前面及び上面が開口し、上下に積み重ね可能な複数個の合成樹脂製の枠本体と、該積み重ねられた最上位の枠本体の上面を覆う合成樹脂製の天板体と、該複数個の枠本体の前面の開口を介してそれぞれ引出収納自在に設けられ、底板、前板、左右の側板、後板からなる上面が開口した合成樹脂製の引出体とからなり、上記各引出体の前部に該引出体内の内容物を表示する表示札やメモ厚紙等の表示材を取替収納可能な収納ポケット部が形成されていることを特徴とする収納ケースにある。

【 0 0 0 7 】

又、請求項 3 記載の考案は、上記収納ポケット部として、上記引出体の左右の側板の内側面の前部に上記表示材の裏面の左右縁部にそれぞれ係止可能な左右一対の保持壁部を形成し、該引出体の底板の内底面の前部に該表示材の裏面の下縁部に係止可能な保持凸部を形成してなることを特徴とするものである。

【考案の効果】

【 0 0 0 8 】

本考案は上述の如く、請求項 1 記載の考案にあっては、上記引出体を枠本体の前面の開口を介して引出収納して衣類や各種小物類等を整理収納することになり、この際、上記引出体の前部に引出体内の内容物を表示する表示札やメモ厚紙等の表示材を取替収納可能な収納ポケット部が形成されているから、文字、模様、色彩等の区別可能な数種類の表示材を用意し、例えば、親と子供、男性と女性等に応じて表示材を選択的に取り替えて配置することにより引出体内の収納物を認識することができ、かつ、この場合、引出体の前板を透明材又は半透明材で形成することにより、引出体を引き出さずとも外部から視認することができ、使用の利便性を高めることができる。

【 0 0 0 9 】

又、請求項 2 記載の考案にあっては、上記各引出体を枠本体の前面の開口を介して引出収納して衣類や各種小物類等を整理収納することになり、この際、上記各引出体の前部に引出体内の内容物を表示する表示札やメモ厚紙等の表示材を取替収納可能な収納ポケット部が形成されているから、文字、模様、色彩等の区別可能な数種類の表示材を用意し、例えば、親と子供、男性と女性等に応じて表示材を選択的に取り替えて配置することにより引出体内の収納物を認識することができ、かつ、この場合、引出体の前板を透明材又は半透明材で形成することにより、引出体を引き出さずとも外部から視認することができ、使用の利便性を高めることができる。

【 0 0 1 0 】

又、請求項 3 記載の考案にあっては、上記引出体の左右の側板の内側面の前部に上記表示材の裏面の左右縁部にそれぞれ係止可能な左右一対の保持壁部を形成し、引出体の底板の内底面の前部に表示材の裏面の下縁部に係止可能な保持凸部を形成して構成しているから、表示材を確実に収納することができる。

【図面の簡単な説明】

【 0 0 1 1 】

【図 1】本考案の実施の第一形態例の全体斜視図である。

【図 2】本考案の実施の第一形態例の部分斜視図である。

【図 3】本考案の実施の第一形態例の部分断面図である。

【図 4】本考案の実施の第一形態例の部分平面図である。

【図 5】本考案の実施の第一形態例の部分断面図である。

【図 6】本考案の実施の第二形態例の全体斜視図である。

【図 7】本考案の実施の第二形態例の部分断面図である。

【考案を実施するための形態】

【 0 0 1 2 】

図 1 乃至図 7 は本考案の実施の形態例を示し、図 1 乃至図 5 は請求項 1 の考案に対応する第一形態例、図 6、図 7 は請求項 2 の考案に対応する第二形態例である。

【 0 0 1 3 】

図 1 乃至図 5 の第一形態例において、1 は枠本体であって、図 1、図 2 の如く、合成樹脂製にして、底板 1 a、左右の側板 1 b・1 b、後板 1 c からなり、前面及び上面が開口した枠状に形成されている。

【 0 0 1 4 】

2 は天板体であって、合成樹脂製にして、上記枠本体 1 の上面を覆う形状に形成され、説明を省略しているが、枠本体 1 に係止穴及び係止爪との係止により着脱自在に連結されている。

【 0 0 1 5 】

3 は引出体であって、図 1、図 2 の如く、合成樹脂製にして、底板 3 a、前板 3 b、左右の側板 3 c・3 c、後板 3 d からなり、上面が開口した容器状に形成され、上記枠本体 1 の前面の開口を介して引出収納自在に設けられている。

10

【 0 0 1 6 】

4 は収納ポケット部であって、図 3、図 4 の如く、上記引出体 3 の前部に引出体 3 内の内容物を表示する表示札やメモ厚紙等の表示材 H を取替収納可能に形成し、この場合、上記引出体 3 の左右の側板 3 c・3 c の内側面の前部に上記表示材 H の裏面の左右縁部にそれぞれ係止可能な左右一対の保持壁部 4 a・4 a を形成し、引出体 3 の底板 3 a の内底面の前部に表示材 H の裏面の下縁部に係止可能な保持凸部 4 b を形成して構成している。

【 0 0 1 7 】

5・5 は凹溝部、6・6 は嵌合凸部であって、図 2、図 3 の如く、上記天板体 2 の上面前後部にそれぞれ凹溝部 5・5 が形成され、凹溝部 5・5 は両端部 5 a・5 a を有する長溝状に形成され、枠本体 1 の底板 1 a の外底面前後部にそれぞれ前後の各凹溝部 5・5 に摺動自在に嵌合可能な嵌合凸部 6・6 が形成されている。この場合、前側の嵌合凸部 6 にゴム足部 6 a が設けられ、かつ、前側の嵌合凸部 6 及び後側の嵌合凸部 6 に並設してキャスター取付部 6 b・6 b を設けている。

20

【 0 0 1 8 】

この実施の第一形態例は上記構成であるから、図 2、図 3 の如く、上記引出体 3 を枠本体 1 の前面の開口を介して引出収納して衣類や各種小物類等を整理収納することになり、この際、上記引出体 3 の前部に引出体 3 内の内容物を表示する表示札やメモ厚紙等の表示材 H を取替収納可能な収納ポケット部 4 が形成されているから、文字、模様、色彩等の区別可能な数種類の表示材 H を用意し、例えば、親と子供、男性と女性等に応じて表示材 H を選択的に取り替えて配置することにより引出体 3 内の収納物を認識することができ、かつ、この場合、引出体 3 の前板 3 b を透明材又は半透明材で形成することにより、引出体 3 を引き出さずとも外部から視認することができ、使用の利便性を高めることができる。

30

【 0 0 1 9 】

この場合、図 2、図 3、図 4 の如く、上記引出体 3 の左右の側板 3 c・3 c の内側面の前部に上記表示材 H の裏面の左右縁部にそれぞれ係止可能な左右一対の保持壁部 4 a・4 a を形成し、引出体 3 の底板 3 a の内底面の前部に表示材 H の裏面の下縁部に係止可能な保持凸部 4 b を形成して構成しているから、表示材 H を確実に収納することができる。

【 0 0 2 0 】

40

又、この場合、図 1、図 3、図 5 の如く、上記天板体 2 の上面前後部にそれぞれ凹溝部 5・5 が形成され、凹溝部 5・5 は両端部 5 a・5 a を有する長溝状に形成され、枠本体 1 の底板 1 a の外底面前後部にそれぞれ前後の各凹溝部 5・5 に摺動自在に嵌合可能な嵌合凸部 6・6 が形成されているから、図 5 の如く、複数の収納ケースを積み重ねた状態において、凹溝部 5・5 と嵌合凸部 6・6 との嵌合により、上段の収納ケースの前後方向及び左右方向への滑り落ちを防ぐことができ、積み重ねの安定性を高めることができ、かつ、横幅サイズの異なる収納ケースを用意し、これら収納ケースを上下に積み重ねたとき、引出体 3 の引出収納方向 T に直交する方向の配置位置を自由に変更することができ、積み重ねの配置位置の融通性を高めることができ、各種の使用態様、設置位置、各種の収納物等に応じて積み重ねの配置位置を変えることができ、収納ケースの使用位置の融通性及

50

び使用の利便性を高めることができる。

【 0 0 2 1 】

図 6、図 7 の第二形態例は別例構造を示し、この場合、上記第一形態例と同様な底板 1 a、左右の側板 1 b・1 b、後板 1 c からなる前面及び上面が開口した枠本体 1 を上下に複数個、この場合、三個積み重ね、最上位の枠本体 1 の上面を天板体 2 で覆い形成し、各枠本体 1・1・1 に前面の開口を介して合成樹脂製の三個の引出体 3・3・3 を引出収納自在に設けてなり、この各引出体 3・3・3 の前部に引出体 3・3・3 内の内容物を表示する表示札やメモ厚紙等の表示材 H を取替収納可能な収納ポケット部 4 が形成されている。

【 0 0 2 2 】

この実施の第二形態例にあっても、上記第一形態例と同様に、文字、模様、色彩等の区別可能な数種類の表示材 H を用意し、例えば、親と子供、男性と女性等に応じて表示材 H を選択的に取り替えて配置することにより引出体 3 内の収納物を認識することができ、かつ、この場合、引出体 3 の前板 3 b を透明材又は半透明材で形成することにより、引出体 3 を引き出さずとも外部から視認することができ、使用の利便性を高めることができる。

【 0 0 2 3 】

この場合、図 6、図 7 の如く、上記最上位の枠本体 1 の上面を覆う合成樹脂製の天板体 2 の上面前後部にそれぞれ凹溝部 5・5 が形成され、凹溝部 5・5 は両端部 5 a・5 a を有する長溝状に形成され、枠本体 1 の底板 1 a の外底面前後部にそれぞれ前後の各凹溝部 5・5 に摺動自在に嵌合可能な嵌合凸部 6・6 が形成されているから、複数個の収納ケースを積み重ねた状態において、凹溝部 5・5 と嵌合凸部 6・6 との嵌合により、上段の収納ケースの前後方向及び左右方向への滑り落ちを防ぐことができ、積み重ねの安定性を高めることができ、かつ、横幅サイズの異なる収納ケースを用意し、これら収納ケースを上下に積み重ねたとき、引出体 3・3・3 の引出収納方向 T に直交する方向の配置位置を自由に変更することができ、積み重ねの配置位置の融通性を高めることができ、各種の使用態様、設置位置、各種の収納物等に応じて積み重ねの配置位置を変えることができ、収納ケースの使用位置の融通性及び使用の利便性を高めることができる。

【 0 0 2 4 】

尚、本考案は上記実施の形態例のものに限られるものではなく、例えば、枠本体 1 の数、段数、大きさ、引出体 3 の個数、構造は用途に応じて定められる。

【 0 0 2 5 】

以上の如く、所期の目的を充分達成することができる。

【 符号の説明 】

【 0 0 2 6 】

H	表示材
1	枠本体
1 a	底板
1 b	側板
1 c	後板
2	天板体
3	引出体
3 a	底板
3 b	前板
3 c	側板
3 d	後板
4	収納ポケット部
4 a	保持壁部
4 b	保持凸部

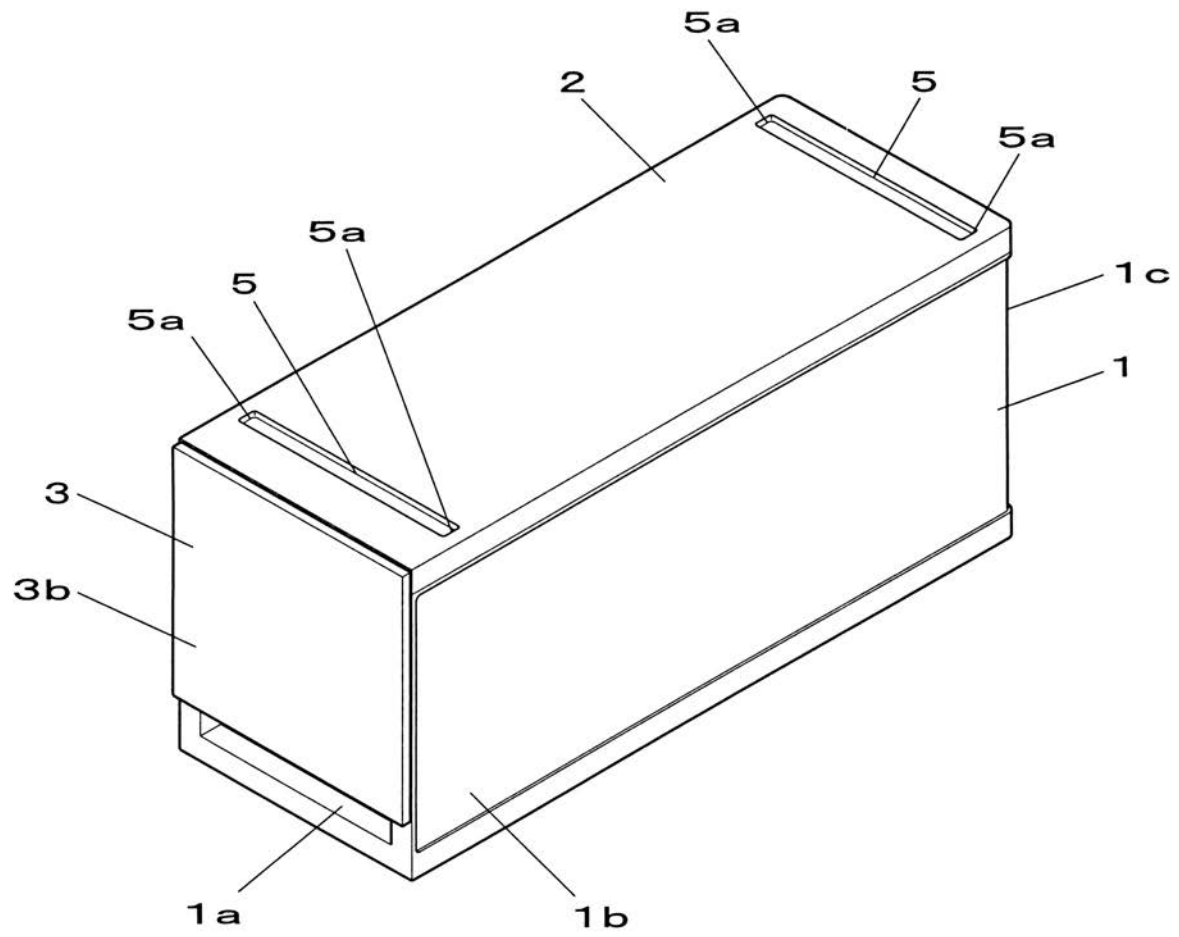
10

20

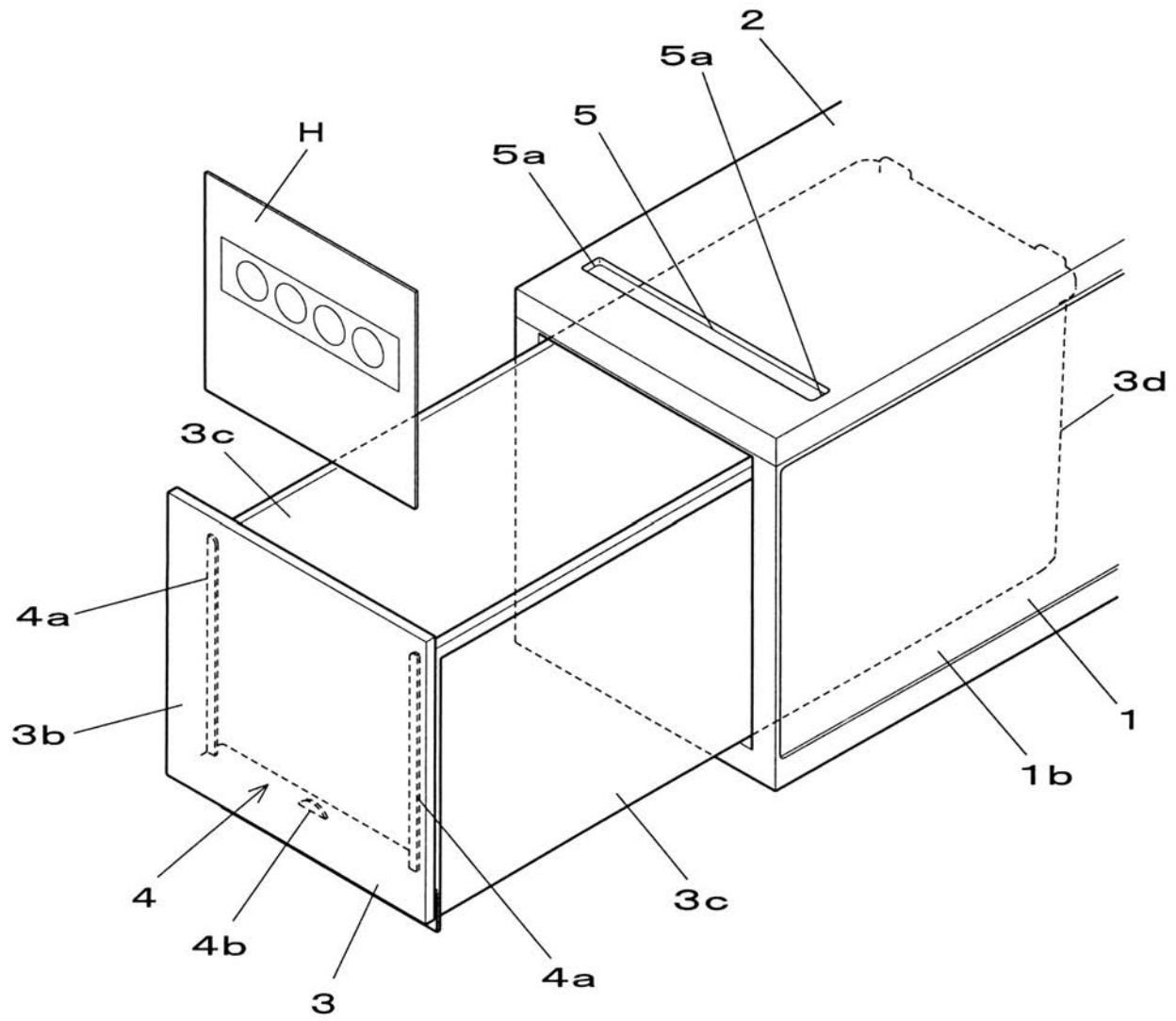
30

40

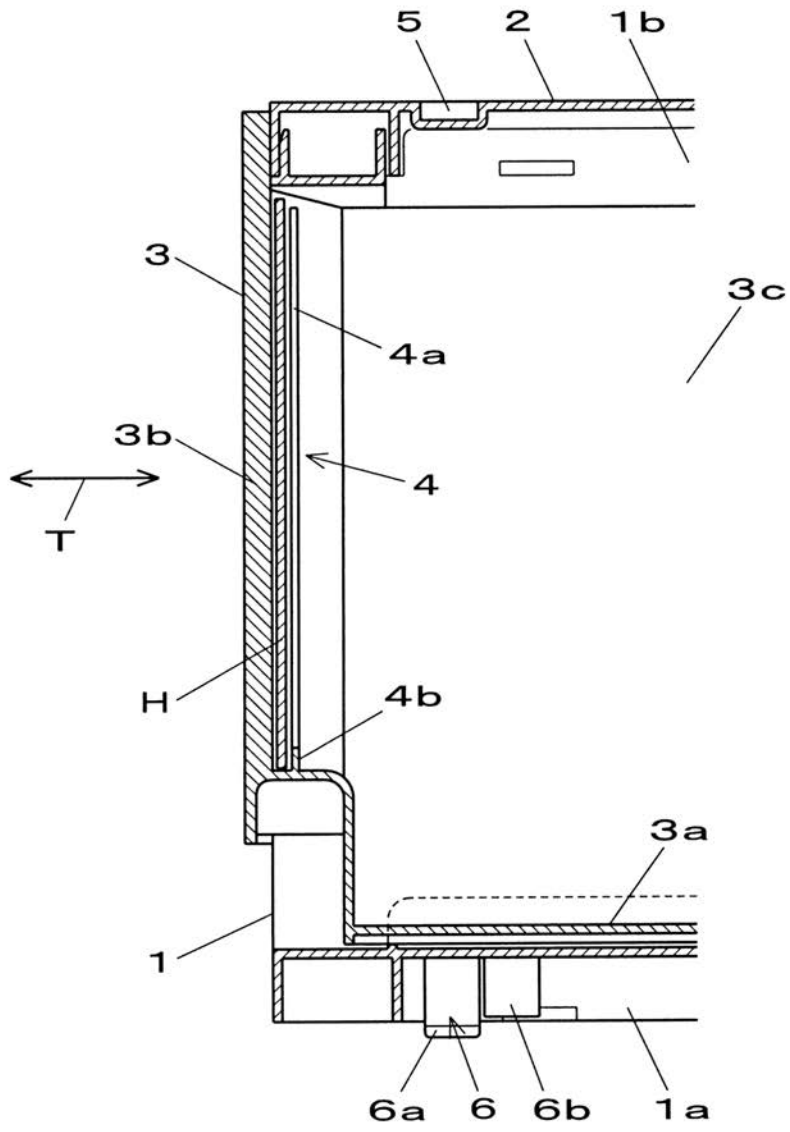
【図 1】



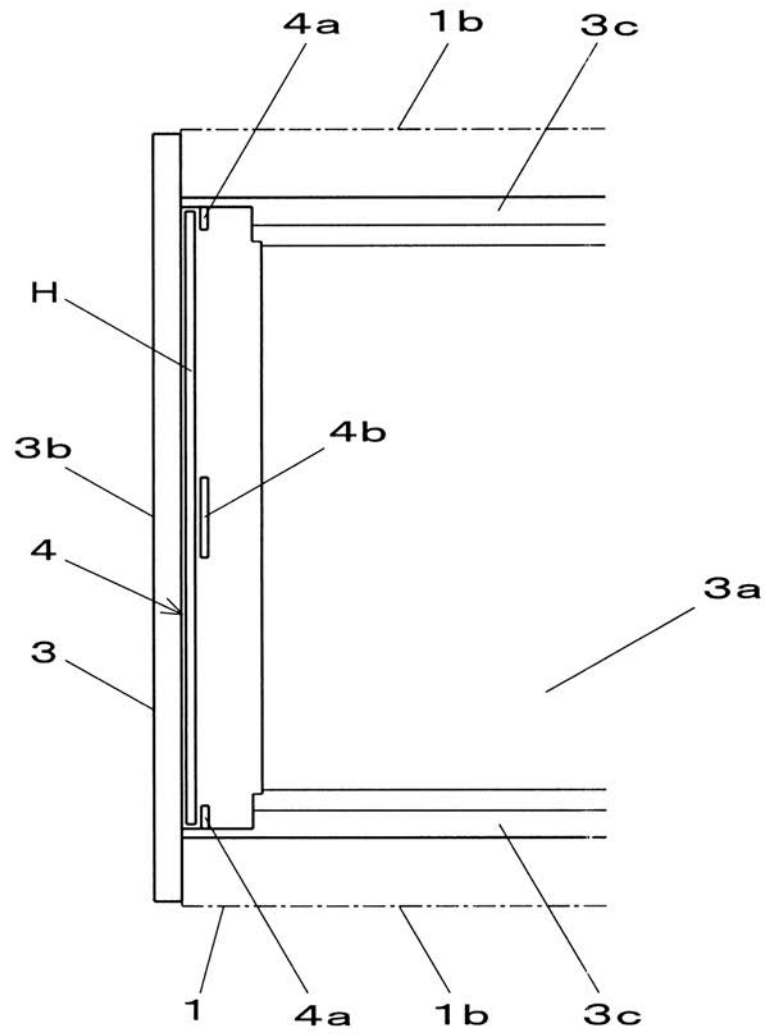
【図2】



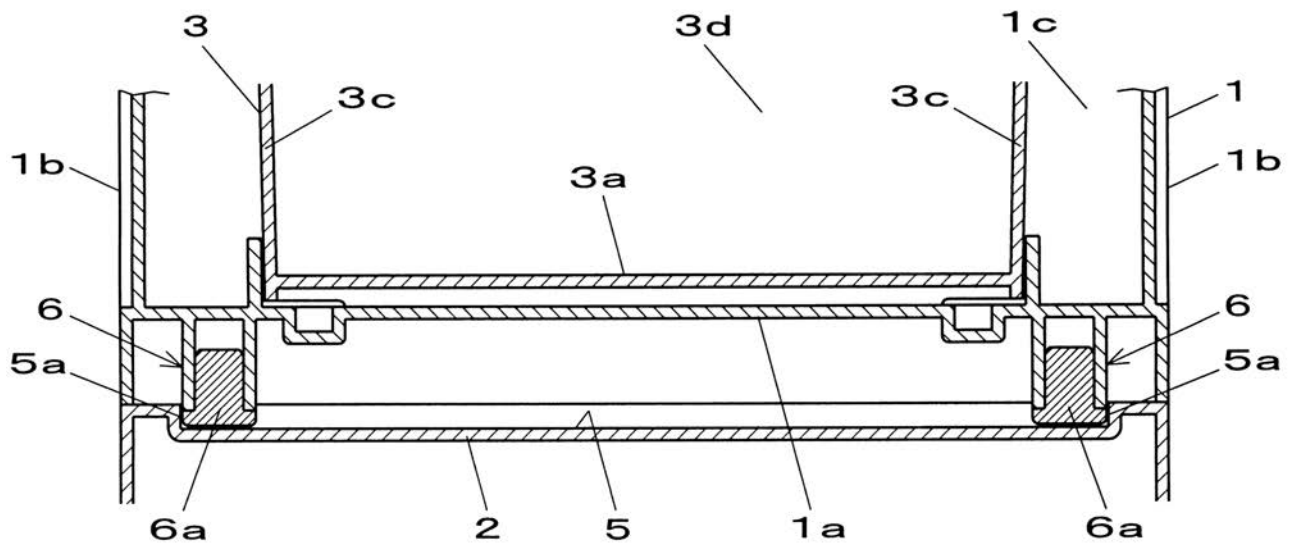
【図 3】



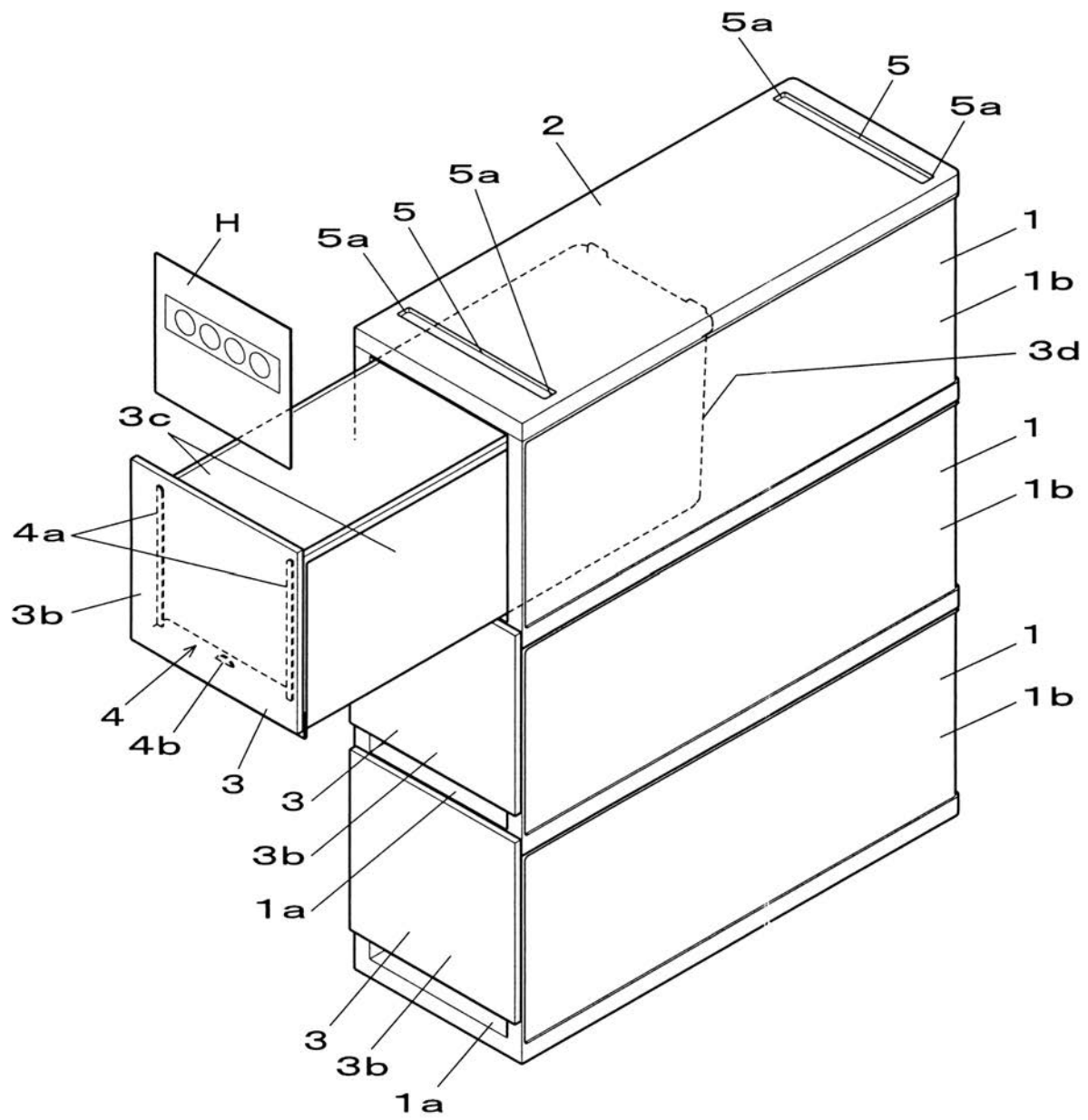
【図 4】



【図 5】



【図 6】



【図 7】

